



# READ Me

ネットワークから最新のソフトウェアをダウンロードできることは、インターネットの大きな魅力の1つです。このコーナー「READ Me」では、ネットワークから入手できる最新のソフトウェアに焦点をあてて、必ず役に立つ情報満載でお届けします。まずは今月の注目ソフトから。

## HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

### best 4



#### 動作環境

OS：ウィンドウズ95  
種別：無償配布

作者：株式会社博報堂、株式会社ティー・ワイ・オー  
CD-ROM収録先：Win Petaro  
関連ページ：<http://www.peta.gr.jp/>

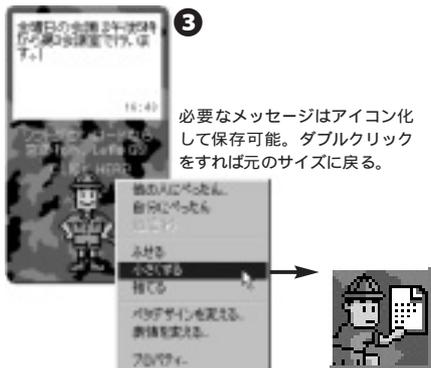
Win

### 簡単便利な付箋紙ソフト

ペタろうは、キャラクターが描かれた「ペタ紙」と呼ばれるウィンドウにメッセージを記入してデスクトップに貼り付けておくことのできる付箋紙のようなソフトウェアだ。ペタろうを利用するにはまずはじめに、メールアドレスとユーザー名の登録をする必要がある。ユーザー名は自分の名前などを入力するといいだろう。これで登録は完了だ。起動するとタスクバーにペタろうのアイコンが表示されるのでそれをダブルクリックしよう。ペタ紙と呼ばれるメッセージを記入するウィンドウが表示されるので、ここにメッセージを入力しよう(画面1)。

### 他のユーザーのデスクトップに送信できる

自分のマシンのデスクトップにメッセージを貼り付けるだけでなく、同じネットワーク内にペ



必要なメッセージはアイコン化して保存可能。ダブルクリックすれば元のサイズに戻る。

タろうを起動しているユーザーがいれば、そのユーザーのデスクトップにメッセージを送信できる。他のユーザーのデスクトップに送信するには、メッセージを記入したらペタろうの顔の部分をクリックして「他の人にべたん」を選択する。送信相手を選択するには、「送る人の登録」ボタンをクリックしてあらかじめ登録しておく必要がある。メッセージは裏返して送信されるので、相手が席を離れていてもメッセージの内容を他人に読まれる心配がない(画面2)。送られたメッセージはダブルクリックをするとメッセージが表示される。もちろん、メッセージに返信をすることも可能だ。

### 保存しておきたいメッセージは小さくして表示

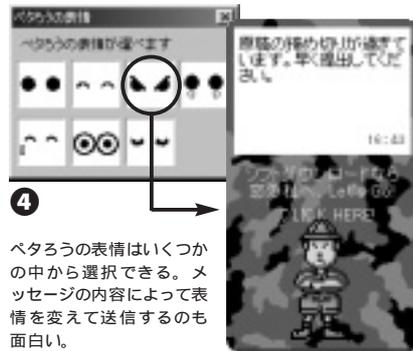
常にデスクトップに表示しておく必要はないが、保存しておきたいメッセージは、アイコン化してデスクトップに置いておくことができる(画面3)。アイコン化したペタろうはダブルクリックをすれば元のサイズに戻る。また、ペタろうの表情はいくつかの中から自由に選択可能だ。送信するメッセージの内容によってペタろうの表情を変えてみるのも面白いだろう(画面4)。

ペタろうのメッセージ欄の下にはバナー広告が表示されている。このバナー広告の内容は時間や日時によって自動的に更新される。また、インターネットに接続されていればペタろうのサーバーから新しい情報が送られてくる。



メッセージ欄にメモを記入してデスクトップに貼り付けておくことができる。

広告をクリックするとWWWブラウザが起動し、更に詳しい内容を表示できる。



ペタろうの表情はいくつかの中から選択できる。メッセージの内容によって表情を変えて送信するの面白い。



ペタろうのデザインはマウスを右クリックして表示されるメニューの「ペタデザイン」から選択できる。「たいちょう」はインターネットマガジンオリジナルのデザインだ。

HOTTEST  
TOOLS

# Curio Hotline Ver. 1.0



### 動作環境

OS: ウィンドウズ95、NT  
種別: フリーソフトウェア  
作者: キュリオシティ  
CD-ROM収録先: Win Curio  
関連ページ: <http://hotline.curio-city.com/>

Win

Curio HotlineはICQのように簡単にメッセージを送受信できるコミュニケーションツール

だ。ICQのように知り合いを登録してメッセージを送受信するだけではなく、Curio Hotlineのサーバーに接続している人の一覧を表示することができるため、知らない人にメッセージを送って友達になれるのが特徴だ。

なお、このソフトウェアを利用するには、キュリオメールの登録をする必要がある。キュリオメールは無料の電子メールサービスで、

WWWブラウザを使ってメールの送受信が可能なサービスだ。この電子メールサービスでは、キュリオメール宛のメールだけでなく現在利用しているメールアドレス宛のメールもWWWブラウザを使って受信可能となっている。



HOTTEST  
TOOLS

# ARENA Internet Mailer Ver. 1.0.3



### 動作環境

OS: マッキントッシュ  
種別: キーウェア 3800円  
作者: 有限会社アリーナプロジェクト  
CD-ROM収録先: Mac ARENA  
関連ページ: <http://www.arena-p.co.jp/>

Mac

ARENA Internet Mailerは、MacOSのファインダー風のインターフェイスの電子メールソフトだ。起動すると「Top ウィンドウ」と呼ばれるファインダー風のウィンドウが表示される。このウィンドウ内にフォルダーやメールボックスを作成してメールを受信する。ファインダーでファイルを扱うように、ドラッグアンドドロップでメールを自由に移動したり、コピーやエイリアスを作成したりできるので、マ

ッキントッシュユーザーならば操作に戸惑うことはないだろう。メールソフトとしての基本機能も充実しており、マルチアカウントはもちろん、マルチユーザーにも対応しているため、1台のマシンを複数のユーザーで使っている場合でも問題なく利用できる。メール表示画面はメールリストが上に、メール本文が下に表示される一般的な形式だが、Eudora風にメールリスト画面とメール本文の画面を別々に表示することも可能だ。ARENA Internet Mailerは検索機能にも特徴があり、インターネットの検索エンジンを利用するように、入力欄に検索したい単語をスペースで区切って入力するだけでAND検索やOR検索が行える。検索結果はリスト表示されるので、探し

ているメールを簡単に見つけられるだろう。また、Eudora-JやEudora Proからの移行ツール「A-Porter」も付属しているので、それらのユーザーならば簡単にARENAに乗り換え可能だ。



HOTTEST  
TOOLS

# Ablepage for 久保田壮一 Ver. 1.3.4



### 動作環境

OS: ウィンドウズ95、98、NT  
種別: フリーソフトウェア  
作者: 久保田壮一氏  
関連ページ: <http://www.users.kudpc.kyoto-u.ac.jp/~m54335/>

Win

フリーソフトウェアやシェアウェアのホームページ作成ソフトは、タグを入力するタイプのものほとんどだが、そのような中で「Ablepage for 久保田壮一」はフリーソフトながらWYSIWYGで編集ができる数少ないホームページ作成ソフトだ。作成画面は縦に4

つに分かれており、一番左がエクスプローラウィンドウとなっている。ここから選択したファイルを右隣の編集ウィンドウにドラッグアンドドロップするだけで、簡単に画像を貼り付けたり、リンクを張ったりできる。もちろん、編集ウィンドウでは文字を入力することも可能だ。右から2つ目のウィンドウはよく利用する画像やリンク先を登録しておくウィンドウ、そして一番右のウィンドウがWWWブラウザウィンドウとなっている。ドラッグアンドドロップによる操作を基本としているので、

HTMLを知らなくても簡単にホームページの作成が可能だ。また、ほとんどの操作をマウスの右クリックでできる点も嬉しい。なお、このソフトを利用するにはインターネットエクスプローラ4.0以降があらかじめインストールされている必要がある。





# Let's Try!



「便利なソフトがあるみたいだけど、使い方がよくわからない」とか、「英語版のソフトを使ってみたいけど、英語が読めないからちょっと……」などと思っている人はいませんか？ このコーナーではそんなあなたのためにフリーソフトウェアやシェアウェアのインストール方法からソフトウェアの活用法までしっかり解説いたします。

## 今月の徹底解説ソフト

# SiteCruise/Personal Ver.1.02

SiteCruise/Personalは、あらかじめ指定したホームページを順次アクセスして自動的に表示する自動巡回ソフトです。一般の自動巡回ソフトとは違って、指定したURLをダウンロードしてオフラインで表示するのではなく、あらかじめ指定した「シナリオ」と呼ばれる設定ファイルに従って順にホームページを表示します。

### 動作環境

OS：ウィンドウズ95、NT  
 種別：シェアウェア 3800円  
 作者：NECインキュベーションセンター  
 CD-ROM収録先：Win Sitecruise  
 関連ページ：<http://www.incx.nec.co.jp/sitecruise/personal/>

Win

## SiteCruise/ Personalを インストールしよう

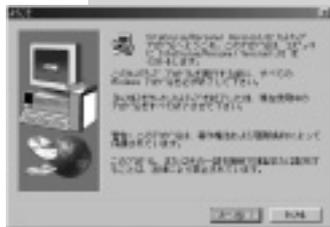
1

SiteCruise/PersonalはインターネットナビゲーターCD Aに収録されています。「Jan99\_a」「Win」「Sitecruise」の順にフォルダーを開いて、フォルダーの中にある「scp102.exe」をダブルクリックします。



2

SiteCruise/Personalのセットアッププログラムが起動します。「次へ」をクリックします。



3

使用許諾契約の画面が表示されます。特に問題がなければ「はい」をクリックします。



4

インストール先を指定します。そのままであれば「OK」をクリックします。インストール先を変更したい場合は「参照」をクリックしてインストール先を指定します。



5

利用しているWWWブラウザを選択します。両方のWWWブラウザ利用している場合は両方のチェックボックスを選択し、「次へ」をクリックします。



6

5でインターネットエクスプローラを選択した場合にこの画面が表示されます。利用しているインターネットエクスプローラのバージョンを指定し、「次へ」をクリックします。



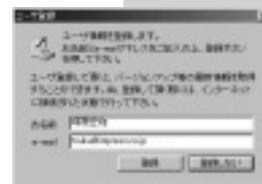
7

設定に間違いがなければ「次へ」をクリックします。



8

ユーザー登録をします。現在、インターネットに接続されていない場合は「登録しない」を選択します。



9

以上でインストールは完了です。「終了」をクリックします。





## SiteCruise/Personalを 使ってみよう

インストールが完了したら、早速SiteCruise/Personalを使ってみましょう。ここでは「オートクルーズ」と呼ばれる自動的にホームページを表示する機能を説明します。この機能を使えば、WWWブラウザを操作せずにホームページを次々と表示できます。

### 1

SiteCruise/PersonalはScenarioEditorとBrowserManagerの2つのソフトウェアから構成されています。まずはデスクトップに作成されたScenarioEditorのショートカットをダブルクリックしてScenarioEditorを起動しましょう。

### 2

前ページのSiteCruise/Personalのインストール時に、ネットスケープナビゲーターとインターネットエクスプローラの両方を利用するブラウザに指定した場合、初回起動時に下のような画面が表示されます。ここでは通常利用しているWWWブラウザを選択します。



### 3

ScenarioEditorが起動します。まず、WWWブラウザを起動させて自動表示させたいサイトのトップページを表示させます。次に、ScenarioEditorのツールバーの左端にある「オートクルーズ」ボタンをクリックします。



### 4

オートクルーズ設定をするのウィンドウが開きます。URLの欄には現在WWWブラウザで表示しているURLが入力されているはずですが。調査する条件の欄には何階層までのリンク先を表示するかを指定します。あまり大きい数を入力すると自動表示するページ数が膨大になりますので、通常は1~3くらいに指定しましょう。WWWブラウザで表示しているサイト内のリンクのみを表示させたいときは「外部リンクも調査する」のチェックをはずします。画像だけを表示させたい場合は、ファイルのフィルタの欄の「イメージファイル」のみをチェックします。入力が完了したら「シナリオ作成」ボタンをクリックします。



### 5

### 5

ScenarioEditorに自動表示するページのURLが登録されます。ツールバーの右から3つ目の「シナリオ実行」ボタンをクリックすると自動表示が始まります。

### 6

BrowserManagerが起動し、ScenarioEditorに登録したURLの順にページが表示されます。スクロールバーが表示される縦に長いページでは自動的にスクロールし、すべて表示し終わると次のページが表示されます。SiteCruise/Personalでは、現在の画面を表示している間に次のページを先読みするため、ページの切り替え時にも待たされることなくスムーズに表示されます。



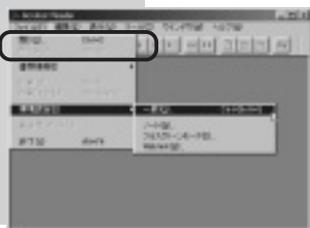


# SiteCruise/Personalのシナリオをカスタマイズしよう

SiteCruise/Personalはオリジナルのシナリオファイルを作成したり、表示方法を制御したりできます。自分の使いやすいようにSiteCruise/Personalをカスタマイズしましょう。

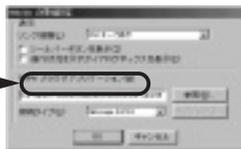
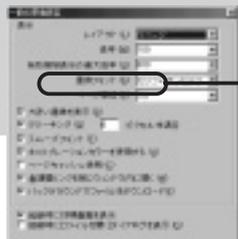
1

ニュースサイトや株価情報のサイトなど、毎日必ずチェックしているページがある場合などでは、オリジナルのシナリオを作成してデスクトップなどに置いておく便利です。オリジナルのシナリオを作成するには、ScenarioEditorのファイルメニューから「新規作成」を選択します。

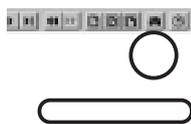


2

「新しいシナリオ」というウィンドウが作成されます。「ここにアドレスを入力してください」と書いてある欄にURLを入力します。



3



巡回するURLを追加する場合はツールバーの右から2番目の「新規アドレス」のボタンをクリックします。新規に「ここにアドレスを入力してください」という欄が作成されます。これを繰り返して、巡回したいURLを記述したオリジナルのシナリオを作成します。

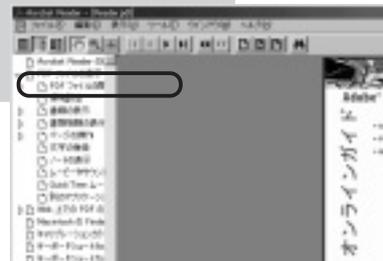
4

URLの入力方法は、ScenarioEditorで直接URLを入力するだけでなく、現在WWWブラウザで表示しているURLを取り込むこともできます。WWWブラウザで表示しているURLを取り込むには、「ここにアドレスを入力してください」を右クリックして出てくるメニューの「ブラウザから取得」を選択します。



5

オリジナルのシナリオを作成したらファイルメニューから「名前を付けて保存」を選択し、シナリオファイルを保存します。



6

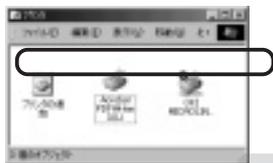
作成したシナリオはダブルクリックするだけでBrowser Managerが起動し、WWWブラウザで自動表示を開始します。





## さまざまな機能を使ってみよう

SiteCruise/PersonalはWWWブラウザのブックマークを自動表示させたり、スクリーンセーバーとして自動表示させたり、サーチエンジンで検索した結果を自動表示したりと、さまざまな機能を装備しています。その中でも特に便利な機能を紹介します。



### 3

「スクリーンセーバーの設定」ウィンドウが表示されます。「シナリオの設定」の欄であらかじめ作成したシナリオファイルを選択します。他の設定は通常はそのままにしておきます。

### 4

以上で設定は完了です。コントロールパネルの「画面のプロパティ」で設定した待ち時間が経過するとスクリーンセーバーが起動し、ホームページが自動表示されます。

## スクリーンセーバーで自動表示する

インターネットエクスプローラを利用している場合、スクリーンセーバーとしてホームページを自動表示させることができます。

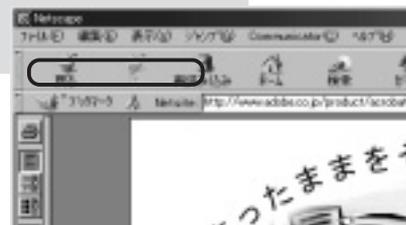
### 1

ScenarioEditorの設定メニューから「スクリーンセーバー」を選択します。



### 2

「オプション」ウィンドウが表示されます。「スクリーンセーバー」タブの「スクリーンセーバーでシナリオを見る」にチェックをし、「シナリオ設定」の「設定」ボタンをクリックします。



## ローカルファイルを自動表示させる

SiteCruise/Personalは基本的にはインターネットに接続した状態で利用するソフトウェアですが、ローカルファイルも自動表示させることができます。パソコンのハードディスクやCD-ROM内にあるファイルもホームページと同じように自動表示させることができるので、デジタルカメラで撮った写真をスライドのように次々と自動で表示させるといったことができます。

### 1

ScenarioEditorのファイルメニューから「新規作成」を選んで、「新しいシナリオ」を作成します。



### 2

ここに表示させたい画像のファイルやフォルダーをドラッグアンドドロップします。ファイルがシナリオに登録されますので、あとは「シナリオ実行」ボタンをクリックするだけで自動表示が始まります。

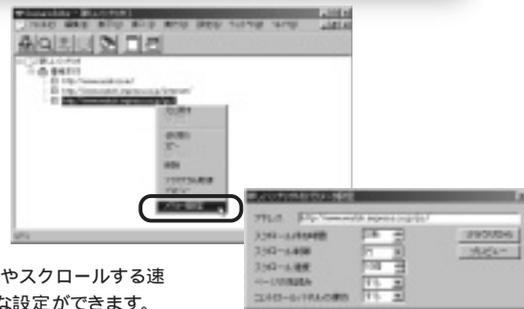
## ブックマークやお気に入りの自動表示

ネットスケープナビゲーターのブックマークやインターネットエクスプローラのお気に入りも自動表示することもできます。実行メニューの「ブックマーク」(インターネットエクスプローラの場合は「お気に入り」)を選択するとブックマークの自動表示が始まります。



## シナリオのパラメーターを設定する

作成したシナリオは表示の設定を自由に編集することができます。編集したいシナリオを右クリックして「パラメータ設定」を選択します。ここで、画面がスクロールするまでの待ち時間の設定やスクロールする速度など、きめ細かな設定ができます。





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)